

# 宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.28

## 石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

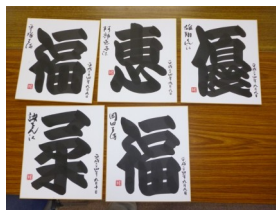
### ◆活動報告その28[2012年9月9日]

9月9日、第28回目のスクーリングに東京から同行したのは、春亭右乃香(しゅんてい・うのか)さんである。彼女は日本に10人はいないと言われる、寄席文字のプロの書き手である。寄席文字とは、相撲文字、歌舞伎曲亭流とともに江戸文字とも呼ばれる独特の書体である。墨痕黒々と太く丸く書くのが特徴で、書道というよりはレタリングに属するものだ。主に落語、浪曲といった演芸のビラや出演者名を掲示する「めくり」等で使われている。彼女は大学のサークルの後輩なのだが、石巻出前寺子屋で漢字検定の講座を開いていることを知って、石巻行きを志願してくれたのである。スクーリングではフラワーアレンジメントのような、学習の合間の息抜きの時間を設けている。そこで今回はそのイベントに「江戸・寄席文字の世界」と称する講演と実演を行うことにしたのである。

この日の受講生は漢検講座に14名、英検講座に13名だが、重複受講生がいるので実質24名である。午後2時30分、全体集會が始まる。いつもの通り我々スタッフの自己紹介から始まり事務連絡をすませ、早速右乃香さんの紹介となった。都内で寄席文字のカルチャー講座を受け持っていることもあり手慣れた様子で、寄席文字のなんたるかを説明する。引き続いて実演にうつると、受講生の皆さんを自分の周りに集める。筆を持つ手元がよく見えるようにとの配慮だ。漢字に興味をもち寺子屋に通う方々なので、彼女の話と筆遣いに大変興味をもたれた様子で、身を乗り出すようにして彼女の手元を見つめていた。

震災後病気をされ、ひどく体調をくずされたまま漢検講座に通って来られているSさんという方がいる。この方が右乃香さんの紡ぎだす文字にことのほか感動された様子で、「元気がでる字ですね」とさかんに声をあげられていた。この日の試みの成功を確信することができた一瞬であった。

そして締めくくりに、漢検準1級を受検される5名の方々に、合格祈願の一字をお贈りし、28回目のスクーリングの感動イベントは幕を閉じたのである。 報告:谷村志厚



準1級受検者に贈られた合格祈願、激励の一字。



右乃香さんの筆遣いを身を乗り出して見つめる受講生の皆さん。「夢」の一字を模範として書上げ寄席文字の特徴を説明する。

晴時々曇りの石巻、最高気温は30度を下回り、今日は暑さの中にも秋の気配が感じられる。およそ1か月後の10月13日に実施される2012年度第2回英語検定試験のために、本日の英検講座は5級、4級、3級、そして2級のグレードで過去問題を時間厳守で解いていただいた。

5級は4人の中学1年生が受検をする。英検協会発表の、この2012年度第1回の過去問題における5級の合格点は28/50点(満点が50点)であった。上記4人の点数は、Cちゃんが47/50点でトップに立ち、Mちゃんは42/50点、K君は39/50点、Rちゃんは34/50点と、皆が合格ラインを越えた。前回のレポート(8月26日号)で報告したように、石巻市湊地区に住んでいたCちゃんは、家は全壊、そしてCDプレーヤーもパソコンも流されてしまった中学1年生である。私(谷村和枝)は松戸の量販店でCDプレーヤーを買い、彼女の自宅に送った。「届きました」という連絡を、今から10日前に彼女のお母さんから受けた。その日からCちゃんは宿題で出されたリスニング問題を解き、本日、全グレードの全受講者の中で、ただ一人のリスニング問題満点という結果を叩き出したのである。若い力、吸収力の速さに私は脱帽した。それと同時に、学習環境が未だに整っていない被災地の子どもたちに、しっかりと目配りをした支援が必要なのことも痛感した。

そして、その他の級の結果は次の様になっている。4級(東北大院生の永迫さん担当)では、合格ラインが38/65点のところ、62/65点、52/65点、51/65点という高得点が出た。3級(同大院生の米澤さん担当)は、合格ラインが39/65点のところ、53/65点、48/65点、43/65点とここまでが合格ラインをクリアしたが、前回のレポートでも届いていないと報告をした中学3年生のE君が36/65点でラインを下回ってしまった。テストの後、学習の進め方を米澤先生からアドバイスされたのだが、本人の“ヤル気”が今日も課題として残ってしまった。松戸の中3生と同じ課題をE君は抱えている。

### 石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日

第Ⅱ期 2012年2月19日～6月17日

第Ⅲ期 2012年6月16日～11月10日

#### ①スクーリング(漢検・英検学習)

2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日、10月7日、13日、21日

#### ②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所

#### ③検定受検(第Ⅲ期)

平成24年度第2回英語2012年10月13日

平成24年度第2回漢字2012年11月10日

#### ④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

#### ⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

2級の過去問題は、制限時間が75分もある筆記試験だけを高校3年生のHさんが解いた。合格ラインの正答率が57.3%のところ、33/45点で正答率73%の好結果をHさんは出し、来春受験をするセンター試験に対しても期待感が膨らむ学力を示してくれた。

さて、本レポートの締めくくりに、英検講座に退会者が出たことを報告したい。Cさんは出前寺子屋にファミリーで参加をし、漢検2級と英検3級をダブル受講している方であるが、「英検は退会して、漢検1本に絞りたい」と申し出られた。「英語は1人で勉強をしていく自学習を進めにくい」という理由からであった。趣味で「英会話」を楽しむ事は異なり、受験の勉強をせざるを得ない英検の学習を進めるには学生とは異なるハードルが職業を持つ受講生にはある、とCさんの言葉から私は感じた。本講座には、40歳代で、本日3級で最高得点を出したお母さんがお子さんと一緒に10月に英検を受験されるのであるが、如何にして勉強時間を捻出し、退会することなく学習を進めているのか、それを次回の英検講座で伺いたいと考えている。次回の出前寺子屋は9月23日に開催される。



英検3級講座風景。3人の中3生と1人のお母さんが受講生。後ろに台所と冷蔵庫が見えるのは、いかにも出前寺子屋らしい風景。



右乃香さん作の看板を背景にこの日のスタッフの記念写真。左から永迫、右乃香、谷村和枝、志厚、佐久間、米澤さん。

右乃香さん作の看板を背景にこの日のスタッフの記念写真。左から永迫、右乃香、谷村和枝、志厚、佐久間、米澤さん。

過去3回の漢字検定実績・58名受検中合格者52名  
2級-13名、準2級-14名、3級-12名、4級-4名、5級-4名、  
6級-3名、7級-2名 (小中学生16名、一般36名)

### ご支援ありがとうございます

当活動は支援参加者個人の負担と、ご援助をいただいた皆さんの浄財で運営しております。2012年6月以降の第Ⅲ期活動からは、日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)から活動資金支援をいただいています。

主管:AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)  
後援:全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)  
支援:日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)